

JAS 1794

日本農林規格
JAPANESE AGRICULTURAL
STANDARD

生産情報公表牛肉

Beef with production details

2003年 10月 31日 制定

2019年 12月 13日 改正

農林水産省

目 次

ページ

1	適用範囲	1
2	用語及び定義	1
3	牛の種別	2
4	薬効別分類	3
5	生産の方法	3
5.1	生産情報公表特定牛肉	3
5.2	生産情報公表輸入牛肉	4
6	表示	4
6.1	生産情報公表特定牛肉	4
6.2	生産情報公表輸入牛肉	4

まえがき

この規格は、日本農林規格等に関する法律に基づき、日本農林規格調査会の審議を経て、農林水産大臣が改正した日本農林規格である。これによって、生産情報公表牛肉の日本農林規格（平成31年2月15日付け農林水産省告示第358号）は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。農林水産大臣及び日本農林規格調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権及び出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

生産情報公表牛肉

Beef with production details

1 適用範囲

この規格は、生産情報公表牛肉の生産の方法について規定する。

2 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

2.1

生産情報

牛肉の生産に係る次の情報。

- 出生の年月日
 - 雌雄の別
 - 管理者 (2.2) の氏名又は名称、住所及び連絡先並びにその管理の開始の年月日 [認証生産行程管理者又は認証外国生産行程管理者の情報を公表する場合にあっては、当該認証生産行程管理者又は認証外国生産行程管理者の氏名又は名称、住所及び連絡先並びに**管理者 (2.2)** の氏名又は名称及び住所並びに管理の開始の年月日]
 - 牛の飼養のための施設の所在地及び当該飼養施設における飼養の開始の年月日
 - とさつの年月日
 - 牛の種別
- 注記 牛の種別については、簡条 3 に示す。
- と畜者の氏名又は名称及び連絡先並びに当該牛がとさつされたと畜場の名称及び所在地
 - 管理者 (2.2) が給餌した飼料の名称
 - 管理者 (2.2) が使用した**動物用医薬品 (2.3)** の薬効別分類及び名称

注記 薬効別分類については、簡条 4 に示す。

2.2

管理者

牛の所有者その他牛を管理する者。

2.3

動物用医薬品

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和 35 年法律第 145 号）第 83 条第 1 項の規定により読み替えて適用される第 49 条第 1 項の規定により農林水産大臣が指定する医薬品並びに同法

第 83 条の 4 第 1 項又は第 83 条の 5 第 1 項の規定により使用者が遵守すべき基準が定められた医薬品。

2.4

生産情報公表牛肉

生産情報公表特定牛肉 (2.5) 及び生産情報公表輸入牛肉 (2.6)。

2.5

生産情報公表特定牛肉

特定牛肉 (2.7) のうち, 5.1 及び箇条 6 の要求事項に適合するもの。

2.6

生産情報公表輸入牛肉

特定牛肉 (2.7) 以外の牛肉のうち, 5.2 及び箇条 6 の要求事項に適合するもの。

2.7

特定牛肉

牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法 (平成 15 年法律第 72 号。以下“牛トレサ法”という。) 第 2 条第 3 項に規定する特定牛肉。

2.8

外注管理

生産行程の管理の一部を外部の者に委託して行わせること。

2.9

個体識別情報

牛の個体を識別するために必要な番号等。

2.10

荷口番号

5.2 b) の規定により荷口ごとに生産情報を公表している場合における当該荷口を識別するために必要な情報。

3 牛の種別

牛の種別は, 次による。

a) 黒毛和種

b) 褐毛和種

c) 日本短角種

d) 無角和種

e) a) と b) との交雑により生じた種 [この種と a) 又は b) との交雑により生じた種を含む。]

f) 和牛間交雑種 a) ~ d) の種間の交雑により生じた種 [この種と a) ~ e) との交雑により生じた種を含み, e) を除く。]

g) 肉専用種 牛肉の生産を目的として飼養される牛であって親の牛が h) ~ j) の牛でないものの種 [a) ~ f) 及び k) を除く。]

h) ホルスタイン種

i) ジャージー種

- j) 乳用種 その雌牛が専ら搾乳を目的として飼養される牛の種 [**h**]及び**i**を除く。]
- k) 交雑種 **a**～**g**と**h**～**j**との交雑により生じた種 [この種と**h**～**j**との交雑により生じた種を含む。]

4 薬効別分類

薬効別分類は、次による。

- a) 麻酔剤
- b) 催眠鎮静剤
- c) 解熱鎮痛消炎剤
- d) 鎮けい（瘧）剤
- e) 自律神経剤
- f) 強心剤
- g) 鎮がい（咳）きよたん（痰）剤
- h) 利尿剤
- i) **f**～**h**の薬剤以外の循環器官系用剤，呼吸器官系用剤及び泌尿器官系用剤
- j) 整胃腸剤 [止しゃ（瀉），吸着，消泡剤を含む。]
- k) ホルモン剤
- l) 子宮収縮剤
- m) 肝臓疾患用剤及び解毒剤
- n) サルファ剤
- o) 合成抗菌剤
- p) 抗原虫剤
- q) 抗生物質製剤
- r) 内寄生虫駆除剤
- s) **n**～**r**の薬剤以外の病原微生物及び寄生性皮膚疾患用剤
- t) ワクチン
- u) 抗血清
- v) **t**及び**u**の薬剤以外の生物学的製剤
- w) **a**～**v**の薬剤以外のその他の薬剤

5 生産の方法

5.1 生産情報公表特定牛肉

生産情報公表特定牛肉の生産の方法についての基準は、次による。

- a) 生産情報の記録及び保管 生産情報のうち、次を正確に記録し、かつ、その記録を保管していなければならない。ただし、認証生産行程管理者又は認証外国生産行程管理者が外注管理をしていない肉用子牛の生産者から家畜市場を通じて購入した肉用子牛のうち、当該生産者が給餌した飼料の名称並びに使用した動物用医薬品の薬効別分類及び名称が記録され、かつ、保管されているものにあつては、**1**)及び**2**)の生産情報を有するものとみなす。

- 1) 管理者が給餌した飼料の名称
 - 2) 管理者が使用した動物用医薬品の薬効別分類及び名称
 - 3) 外国で出生した牛に係る牛肉にあつては、出生の年月日
 - 4) 外国で出生した牛に係る牛肉にあつては、出生から当該牛が輸入されるまでの間の管理者の氏名又は名称及び住所並びにその管理の開始の年月日
 - 5) 外国で出生した牛に係る牛肉にあつては、出生から当該牛が輸入されるまでの間の牛の飼養のための施設の所在地及び当該飼養施設における飼養の開始の年月日
 - 6) 外国で出生した牛に係る牛肉にあつては、出生から当該牛が輸入されるまでの間の牛の管理者の連絡先
- b) **生産情報の公表** 生産情報を、一頭ごとに事実即して公表していなければならない。ただし、いずれの牛から得られた牛肉であるかを識別することが困難であるときは、20頭以内の荷口ごとに事実即して公表していなければならない。

5.2 生産情報公表輸入牛肉

生産情報公表輸入牛肉の生産の方法についての基準は、次による。

- a) 生産情報を一頭ごとに正確に記録するとともに、その記録を保管し、事実即して公表していること。
- b) いずれの牛から得られた牛肉であるかを識別することが困難であるときは、20頭以内の荷口ごとに事実即して公表していること。

6 表示

6.1 生産情報公表特定牛肉

生産情報公表特定牛肉の表示の基準は、次による。

- a) **表示事項** 表示事項については、食品表示基準（平成27年内閣府令第10号）の規定に従うほか、生産情報の公表の方法を表示していなければならない。ただし、生産情報が、小売販売業者以外の販売業者にあつては容器若しくは包装の見やすい箇所、送り状又は納品書等に、小売販売業者にあつては容器若しくは包装の見やすい箇所又は牛肉に近接した掲示その他見やすい場所に事実即して表示されている場合には、省略することができる。
- b) **表示の方法** 表示の方法については、食品表示基準の規定に従うほか、次による。
 - 1) **名称** 名称は、その内容を表す一般的な名称に近接して“生産情報公表牛肉”と記載しなければならない。
 - 2) **生産情報の公表の方法** 生産情報の公表の方法の表示は、ファックス番号、ホームページアドレス等生産情報を入手するために必要な連絡先を、小売販売業者以外の販売業者にあつては容器若しくは包装の見やすい箇所、送り状又は納品書等に、小売販売業者にあつては容器若しくは包装の見やすい箇所又は牛肉に近接した掲示その他見やすい場所に記載しなければならない。
- c) **表示禁止事項** 表示禁止事項については、食品表示基準の規定に従うほか、牛トresa法第3条及び5.1 a)により記録された生産情報並びに生産情報の公表の方法の内容と矛盾する用語を表示してはならない。

6.2 生産情報公表輸入牛肉

生産情報公表輸入牛肉の表示の基準は、次による。

- a) **表示事項** 表示事項については、食品表示基準の規定に従うほか、次の事項を表示していなければならない

い。ただし、**3)**にあつては、生産情報が、小売販売業者以外の販売業者にあつては容器若しくは包装の見やすい箇所、送り状又は納品書等に、小売販売業者にあつては容器若しくは包装の見やすい箇所又は牛肉に近接した掲示その他見やすい場所に事実在即して表示されている場合には、省略することができる。

- 1) 個体識別情報
 - 2) **5.2 b)**の規定により荷口ごとに生産情報を公表している場合にあつては、**1)**に代えて荷口番号
 - 3) 生産情報の公表の方法
- b) 表示の方法** 表示の方法については、食品表示基準の規定に従うほか、次による。
- 1) **名称** 名称の表示は、その内容を表す一般的な名称に近接して“生産情報公表牛肉”と記載しなければならない。
 - 2) **個体識別情報又は荷口番号** 個体識別情報又は荷口番号の表示は、小売販売業者以外の販売業者にあつては容器もしくは包装の見やすい箇所、送り状又は納品書等に、小売販売業者にあつては容器もしくは包装の見やすい箇所又は牛肉に近接した掲示その他見やすい場所に記載しなければならない。
 - 3) **生産情報の公表の方法** 生産情報の公表の方法の表示は、ファックス番号、ホームページアドレス等生産情報を入手するために必要な連絡先を、小売販売業者以外の販売業者にあつては容器若しくは包装の見やすい箇所、送り状又は納品書等に、小売販売業者にあつては容器若しくは包装の見やすい箇所又は牛肉に近接した掲示その他見やすい場所に記載しなければならない。
- c) 表示禁止事項** 表示禁止事項については、食品表示基準の規定に従うほか、**6.1**に規定する事項及び**5.2**の規定により公表された生産情報の内容と矛盾する用語を表示してはならない。

制定等の履歴

制 定 平成15年10月31日農林水産省告示第1794号
改 正 平成20年11月11日農林水産省告示第1608号
確 認 平成26年2月25日農林水産省告示第297号
改 正 平成27年3月27日農林水産省告示第714号
改 正 平成28年2月24日農林水産省告示第489号
改 正 平成30年3月29日農林水産省告示第683号
確 認 平成31年2月15日農林水産省告示第358号
最終改正 令和元年12月13日農林水産省告示第1629号

制定文、改正文、附則等（抄）

- 令和元年12月13日農林水産省告示第1629号
令和元年12月13日から施行する。